

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	01	03	0411	ニコニコ元気っ子事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-1	子育て環境の充実			
	施策	3	就学前教育の充実			
目的	保育・教育の充実と小学校へのスムーズな接続を図る。					
対象	花巻市内の保育園、幼稚園の以上児					
意図	幼児期での体力・運動能力の向上に取り組み、小学校の学校生活に適応出来る体づくりを行う。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
生涯にわたるスポーツや運動の欲求を引き出し、健全な心身の発達を促す効果が期待出来るコーディネーショントレーニング(略称COT)を市内保育園、幼稚園で導入する。 ①公立園での運動能力調査の実施 ②保育士・幼稚園教諭等への研修(学ぶ会)の実施 ③市内園毎に以上児を対象としたコーディネーショントレーニング教室を実施						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標(上記「事業概要」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	COT教室実施回数	回	計画	3	86	86
			実績	3	70	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標(上記「意図」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	COT教室参加園児数	人	目標		3,000	3,000
			実績		1,984	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
市内保育園幼稚園43園を対象にCOT教室への参加を呼びかけ、うち32園が参加し、延べ二千人の園児が楽しく体を動かす良い体験となったが、保育の方針性により希望しない園や園の都合により実施できない日もあったことから参加園児数が目標を下回った。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 ○ 妥当である 見直し余地がある 妥当でない
有効性	成果の向上余地 ○ 向上余地がある 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 ○ 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある ○ 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
幼児期から体を動かす機会を増やすことや、運動の苦手な子供が楽しく運動できる内容にすることにより、運動能力の向上を図るため、コーディネーショントレーニング教室を行い、各園において日々の保育、教育に様々な体の動かし方を取り入れることができた。	

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	01	03	0411	ニコニコ元気っ子事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			748		748
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		748		748

事業期間	○ 単年度繰返	■ 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	--------	-----------------

部経営方針における目標

子どもたちの健やかな成長を育む就学前教育の充実と家庭の教育力の向上

事業開始の背景・経緯

市内小学校の体力が、全国平均値より低下している項目が年々多くなる傾向にあるとともに、運動する子どもとしない子どもの差の拡大、肥満の傾向が見られる子どもの増加等、運動不足が原因と思われる現象が数多く見られることから、幼児期から何らかの対策が急務となっていた。

事業概要

生涯にわたるスポーツや運動の欲求を引き出し、健全な心身の発達を促す効果が期待出来るコーディネーショントレーニング（略称COT）を市内保育園、幼稚園で導入する。

- ①公立園での運動能力調査の実施
- ②保育士・幼稚園教諭等への研修（学ぶ会）の実施
- ③市内園毎に以上児を対象としたコーディネーショントレーニング教室を実施

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- 保幼小研修会に参加した小学校教諭より
入学前に園で準備すべきこととして、数字や文字を覚えていることが必ず必要なことではないが、授業等の話しを聞く力が重要であり、体力的な部分により集中力が続かない例が見受けられる。
- 市内保幼合同研修（専門研修：コーディネーショントレーニングの実技研修）に参加した保育士より
①自園でも姿勢を保てない子、話しを聞けない子の姿が気になっていた。
②手軽に運動が苦手な子どもも楽しく体を動かせる内容がとても良かった。実技がとても楽しかった。
③子どもが自ら「頑張れば出来る」と感じ、またやってみたくて意欲を持つ姿を見た事が印象に残った。

担当部署 部名 教育部 課名 こども課 担当係長 牛崎 充人 内線 9-30-342

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【事業手法の詳細】

課題

小学校での体力・運動能力調査結果で全国平均より低い項目が年々多くなる傾向が見られる。

保育士等から見て、体の動きで当たり前に出ると思われる身のこなしが出来ない子どもが多くなっている。

肥満傾向の子どもの増加

要因

運動をする子ども・運動をしない子どもの二極化(「運動嫌い」が増加)

自然遊び等による身のこなしを自然に習得する機会の減少

車社会の進行による歩く機会の減少

食生活の変化と、ゲーム等普及によるの室内遊びの増加

導入

改善

COTの特徴

- ①子どもの年齢に合った理論に基づいたプログラムで実施
- ②単純な運動遊びを通じ、体を動かす楽しさや、やる気を引き出す
- ③体力・運動能力の向上の他、運動に必要な様々な能力が身に付けられる

期待される効果

運動嫌いの子ども減少

運動する機会の増加

授業時の姿勢の改善

肥満傾向の子ども減少

【平成26年度事業費の内訳】 748千円

- ①公立園での運動能力調査の実施
公立園で運動能力調査を実施、私立園へ用具貸出
消耗品費：148千円
運動能力調査用（ストップウォッチ、50mメジャー、テニスボール）
- ②保育士・幼稚園教諭等への研修（学ぶ会）の実施
保幼小連携行事に合わせて研修（学ぶ会）を実施
費用弁償費：72千円 講師旅費、宿泊費
手数料：108千円 学ぶ会実施経費等
- ③市内園毎に4、5歳児を対象としたCOT教室を実施
市内全園でCOT教室を年2回実施（対象園43園のうち32園参加：公立園17園、私立園15園）
謝礼金：420千円 COT教室謝礼金（1回2時間@6千円×70回）